

## 特許検索事例研究会 ～拒絶理由に学ぶ特許検索式の立案ノウハウ～

### 「演習問題 6：こんにゃく粉末と希少糖を組合せたサプリメント」の事例解説

#### 1. 演習問題 6 の内容

演習問題 6 の題材公報は「[特開 2016-106578](#)：こんにゃく粉末と希少糖を組み合わせたサプリメント」です。この特許出願の請求項 1 の新規性を確認するための検索式を検討してください。

【発明の名称】こんにゃく粉末と希少糖を組み合わせたサプリメント

【要約】【課題】グルコマンナンの粉またはこんにゃくを砕いた粉、および、希少糖を含む、血糖値、体重増加、および内臓脂肪蓄積の一以上の生体機能を改善できる優れた機能性食品の提供。

【解決手段】グルコマンナンの粉又はこんにゃくを砕いた粉、及び、希少糖を含むサプリメント形状の加工食品。グルコマンナンの粉又はこんにゃくを砕いた粉はサプリメント全体の 40～95 重量%からなるサプリメント形状の加工食品。希少糖は少なくとも D-プシコースを 0.1 g 以上含有する加工食品。

【請求項 1】

グルコマンナンの粉またはこんにゃくを砕いた粉、および、希少糖を含むことを特徴とするサプリメント形状の加工食品。

そして、拒絶理由の中で、【請求項 1】の新規性を否定するとして示された引用文献が 1 件ありました。

引用文献：[国際公開第 2014/119718 号](#)

#### ＜拒絶理由通知書に記載された審査官のコメント＞

引用文献には、血糖値上昇抑制効果を有するこんにゃく加工飲食品であって、こんにゃくを磨砕又は破碎して製造した微細粒状こんにゃくと、D-プシコース及びD-アロース等の希少糖とを含むものが記載されている。してみれば、この出願の請求項 1 に係る発明の発明特定事項と引用発明特定事項との間に差異はない。よって、本願の請求項 1 に係る発明は、引用文献に記載された発明である。

皆様は、この引用文献を抽出することができたでしょうか？ また、どのような検索戦略を立案すればヒットさせられるでしょうか？

## 2. 発明の認定および題材公報と引用文献との対比

まずは、調査対象とした発明の認定作業から行いましょう。

今回の調査対象となる【請求項1】は、グルコマンナンの粉またはこんにやくを砕いた粉と、希少糖とを含むサプリメント形状の加工食品です。出願人である「ハイスキー食品工業株式会社」のホームページを参照すると、メタボ・血糖値対策&ダイエット用食品素材の『レアシュガー・マンナン』として紹介されています。

“奇跡の糖”と健康食材のコラボレーション『レアシュガー・マンナン』

<https://www.haisky.co.jp/oem/>

ホームページには香川大学医学部と共同研究が行われていることも記載されており、引用文献の出願人が、ハイスキー食品工業と香川大学との共同出願である理由も理解できました。

「希少糖」という言葉は、香川大学名誉教授の何森健先生が2000年ごろに提案した造語のようで、現在では香川大学の中に「国際希少糖研究教育機構」が設置され研究活動を推進しています。

香川大学国際希少糖研究教育機構

<http://www.kagawa-u.ac.jp/IIRSRE/>

希少糖が含有する具体的な成分として、「D-プシコース」という六炭糖が示されており、題材公報の従属請求項では「D-プシコース」の含有量や含有形態を特定しています。

ここで、題材公報と引用文献に付与されている特許分類やキーワード表現の、一致点、相違点について確認してみましょう。図1は題材公報と引用文献の対比表です。今回の引用文献は、日本語で出願されたPCT出願が公開となった国際公開公報であるので、その後に国内で再公表されています。そこで、再公表特許も合わせて対比してみました。

対比公報	題材公報	引用文献(国際公開)	参考：引用文献(国内再公表)
	特開2016-106578	WO2014/119718	再公表特許WO2014/119718
公報発行日	2016/6/20	2014/8/7	2017/1/26
出願人	ハイスキー食品工業株式会社	香川大学／ハイスキー食品工業	香川大学／ハイスキー食品工業
IPC (公報記載)		A23L1/212 A23L1/30	A23L19/00
	A23L33/10		A23L33/10
	A23L33/20		
FI (公報記載)	A23L1/30Z	国際公開公報には 付与されない	A23L1/212,102Z
	A23L1/307		A23L1/30Z
Fターム (公報記載)	4B018	国際公開公報には 付与されない	4B016
			4B018
キーワード	グルコマンナン	グルコマンナン こんにゃくマンナン	
	こんにゃく	こんにゃく	
	希少糖	希少糖	
	D-ブシコース D-アロース	D-ブシコース D-アロース	

図1 題材公報と引用文献の対比表

出願人名称をご覧いただくと、題材公報と引用文献の両方に「ハイスキー食品工業」の社名が見られます。題材公報は単独の出願人で、引用文献は香川大学との共同名義になっている違いはあるものの、自身の先願により拒絶された、いわゆる自爆に近い拒絶内容になっています。ハイスキー食品工業の発明者は同一人物であり、題材公報の出願時に引用文献の存在を気づけなかったことは残念です。発明主体が香川大学であったためなのか、それとも、国際公開公報であり、国内の先行技術調査ではヒットしなかったためなのか、理由はわかりませんが、自爆とならないように自社の先行技術も漏れなく調査すべきと考えさせられました。

そして、特許分類について比較してみると、引用文献は国際公開公報であり、日本の公開公報とは異なり、FIとFタームは付与されていません。すなわち、国際公開公報は日本語で記載されていたとしても、FIとFタームを指定した検索ではヒットしないのです。

唯一対比が可能なIPCについては、「A23L」のサブクラスまでは共通していますが、メイングループ以下の細分類については異なっています。実は、A23Lの国際特許分類は2016年1月に改正が行われており、2014年に発行された引用文献は改正前のIPCが付与されています。「A23L1/30」は「A23L33/10」へと改正

され、「A 2 3 L 1 / 2 1 2」は「A 2 3 L 1 9 / 0 0」へと改正されています。そうすると、「A 2 3 L 3 3 / 1 0 : 添加物を使用したダイエット製品」が共通するIPCであることが分かりました。

国際公開公報にはF I とFタームの付与はされていませんが、その後に日本国内で再公表された再公表特許には、F I とFタームは付与されており、「A 2 3 L 1 / 3 0 Z : その他の種類の添加物を含有するダイエット製品」のF I と、「4 B 0 1 8 : 食品の着色及び栄養改善」のFタームが共通していました。再公表公報については、F I 指定検索とFターム指定検索のどちらでもヒットさせられます。

キーワード表現について比較してみると、主要な概念のキーワードは類義語がばらつくことなく同一表現で使用されており、「こんにゃく and 希少糖」とキーワード検索をすれば簡単に引用文献をヒットさせることができます。たぶん、この演習課題にチャレンジいただいた多くの皆様が、予備検索の段階で引用文献を見つけられたのではないかと推測します。引用文献を簡単にヒットさせられる題材であったとは思いますが、国際公開公報の検索に関するトピックを取り上げたく、事例研究の題材とさせていただきました。

### **3. 検索報告書からの学び**

今回の題材では登録調査機関に検索外注が行われ、登録調査機関より検索報告書が作成されていました。検索報告書の中では検索論理式やスクリーニングサーチの結果について報告されているので、登録調査機関の調査員が、どのような検索アプローチを実施しているのかを確認できます。

今回の調査は国内と外国の両方の調査が行われていましたが、国内特許調査については、No. 1 ~ 2 5 までの検索アプローチが行われていました。実際に行われた検索論理式とヒット件数を図2に示しました。

## ■検索論理式

年月範囲： 年 月 日～2014年 11月 19日

【No.】	【クレームNo.】	【テーマコード】	【検索論理式】	【件数】
1	1-12	無テーマ	501426736/ap ←ハイスキー工業の出願人識別コード	23
2	1-12	無テーマ	菱谷,2C,哲嗣/in-¥01 ←題材公報の発明者名	0
3	1-12	無テーマ	(マンナン+こんにやく+コンニャク+蒟蒻),99n,(プシコース+アルロース+タガトース+希少糖)/tx	38
4	1-12	4B018	LE02*MD27*MD40	47
5	1-12	4B018	LE02*MD40-¥04	0
6	1-12	4B018	LE02*[(??こんにやく+??コンニャク+??蒟蒻+??グルコマンナン+??コンニャクマンナン+??こんにやくマンナン)+(こんにやく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン+コンニャクマンナン+こんにやくマンナン)/tx]-¥(04+05)	130
7	1-12	4B018	(こんにやく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン),99n,(サプリメント+健康食品+栄養補助+栄養食品+機能食品+補助食品+健康補助)/tx-¥(04+05+06)	204
8	1-12	4B018	(こんにやく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン),99n,(プシコース+アルロース+希少糖)/tx-¥(04+05+06+07)	0
9	1-12	4B018	(サプリメント+健康食品+栄養補助+栄養食品+機能食品+補助食品+健康補助),99n,(プシコース+アルロース+希少糖)/tx-¥(04+05+06+07+08)	22
10	1-12	4B018	LE01*MD40	39
11	1-12	4B018	MD40*(プシコース+アルロース+希少糖)/tx	3
12	1-12	4B016	LG07*LK08-¥(04+05+06+07+08+09)	44
13	1-12	4B016	LG07*(糖尿+血糖+肥満+高脂+コレステロール+ダイエット)-¥(04+05+06+07+08+09+12)	28
14	1-12	4B016	LG07*(プシコース+アルロース+希少糖)-¥(04+05+06+07+08+09+12+13)	0
15	1-12	4B016	LG07*(プシコース+アルロース+希少糖)/tx*(糖尿+血糖+肥満+高脂+コレステロール+ダイエット)/tx	6
16	1-12	4C088	AB80*(ZA70+ZC33+ZC35)	68
17	1-12	4C090	BA41*DA23	62
18	1-12	無テーマ	(こんにやく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン)*(プシコース+アルロース+希少糖)-¥(04+05+06+07+08+09+12+13+14)	0
19	1-12	無テーマ	(こんにやく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン)/tx*(プシコース+アルロース+希少糖)/tx	150
20	1-12	無テーマ	(プシコース+アルロース+希少糖),99n,(糖尿+血糖+肥満+高脂+コレステロール+ダイエット),99n,(サプリメント+健康食品+栄養補助+栄養食品+機能食品+補助食品+健康補助)/tx-¥(04+05+06+07+08+09+12+13+14+18)	17
21	1-12	無テーマ	(プシコース+アルロース+希少糖),99n,(糖尿+血糖+肥満+高脂+コレステロール+ダイエット)/tx-¥(04+05+06+07+08+09+12+13+14+18+20)	99
22	1-12	無テーマ	(こんにやく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン),99n,(糖尿+血糖+肥満+高脂+コレステロール+ダイエット),99n,(サプリメント+健康食品+栄養補助+栄養食品+機能食品+補助食品+健康補助)/tx-¥(04+05+06+07+08+09+12+13+14+18+20+21)	70
23	1-12	無テーマ	(こんにやく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン+コンニャクマンナン+こんにやくマンナン),50n,(薬物代謝+薬剤代謝+半減期+徐放)/tx	24
24	1-12	無テーマ	(こんにやく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン+コンニャクマンナン+こんにやくマンナン),50n,持続/tx	111
25	1-12	無テーマ	(レアシュガースイート+レアシュガースウィート)/tx	44

※国内特許調査の検索式のみを抜粋

図2 検索報告書の検索論理式

題材公報の出願人である「ハイスキー食品工業」の出願人識別番号を指定したNo. 1か

ら始まり、N o. 2では題材公報の発明者である「菱谷哲嗣」の発明者名を指定した検索を行い、さらに、N o. 3では発明のポイントを表すキーワードである「こんにゃく、マンナン」と「希少糖、プシコース」とを近傍検索しています。このN o. 1～3の工程は通常の特許調査における予備検索の工程に該当すると考えてよいと思います。次に示した図3のスクリーニングサーチの結果のとおり、引用文献はN o. 1の検索式で見つけられたと報告されていますが、N o. 1～3の全ての検索条件で引用文献はヒットします。すなわち、予備検索の段階で簡単に引用文献を把握できたことになると思います。

そして、N o. 4～11では、Fタームの「4B018：食品の着色及び栄養改善」を間口とした検索式が展開され、さらに、N o. 12～15では、「4B016：果実または野菜の調製」を間口とした検索式が展開されています。

最後に、N o. 18～25ではキーワード指定のみの検索が展開されており、様々な概念（素材、効果、適用商品など）のキーワードを掛け合わせた検索を行っています。

今回は、Fタームとキーワードとを、単独または組み合わせて検索が実施されていますが、F Iを使った検索は行われていませんでした。

次に、スクリーニングが行われた結果を図3に示しました。国内特許調査により10件の文献が抽出され、N o. 1として抽出された提示文献が今回の引用文献です。

#### ■スクリーニングサーチの結果

【N o.】	【提示文献の種別】	【対話型追加文献の種別】	【提示文献】	【代表カテゴリ】	【式N o.】
1	特許文献		国際公開第2014／119718号	Y	1
2	特許文献		特開2010-018528号公報	Y	9
3	特許文献		特開2007-295906号公報	Y	7
4	特許文献		特開平11-032727号公報	Y	6
5	特許文献		国際公開第2014／175119号	Y	21
6	特許文献		国際公開第2006／101118号	A	9
7	特許文献		特開平10-114682号公報	Y	24
8	特許文献		特開2013-103922号公報	A	23
11	特許文献		特表2014-529994号公報	A	21
13	特許文献		特開2014-068620号公報	A	25

※国内特許調査により抽出された文献のみを抜粋

図3 検索報告書のスクリーニングサーチの結果

審査官が新規性欠如の証拠として提示した、提示文献N o. 1は、検索報告書においては「Yカテゴリ：進歩性なし」として評価されていました。

#### 4. 再公表特許の廃止と国際公開公報を検索する際の注意点について

昨年末に、特許庁から公報の発行システムを刷新するとの告知があり、それによると、再公表特許は廃止されることになり、2022年1月以降は発行されないことが発表されています。

公報システム刷新に対応した公報の発行について

<https://www.jpo.go.jp/system/laws/koho/oshirase/system-sasshin20201222.html>

再公表特許は発行までのタイムラグが長く、出願の事実を把握するのが遅くなるというデメリットがあるものの、公開特許公報に含めて検索対象とすることができるというメリットがありました。しかし、再公表特許が廃止されるとなると、J-PlatPat検索を実施する際には、外国文献の「WIPO(WO)」を検索対象に加えて検索するとか、別途、PATENTSCOPEやGoogle Patent等の外国文献検索データベースで、日本語の国際公開公報を検索することが必要になります。

図4は、J-PlatPatの「特許・実用新案検索」を使って、国内文献に加えて外国文献の「WIPO(WO)」を検索対象に指定して検索を行った画面です。文献種別の「外国文献」のチェックボックスをチェックし、さらに、外国文献の中の「WIPO(WO)」のチェックボックスのみを選択しています。検索式は全文を対象に「こんにやく and 希少糖」とキーワード指定検索を行いました。

The screenshot shows the J-PlatPat search interface. At the top, the search type is set to 'Text Search' (テキスト検索対象) with 'Japanese' (和文) selected. Below this, the 'Document Type' (文献種別) section is expanded. Under 'Domestic Literature' (国内文献), several checkboxes are checked, including 'Patent (Invention, Utility Model, Design)' (特許(特開・特表(A)、再公表(A1)、特公・特許(B))), 'Patent Publication' (特許発明明細書(C)), 'Utility Model' (実用新案(実開・実表・登実(U)、実全(U1)、再公表(A1)、実公・実登(Y))), and 'Registered Utility Model Publication' (登録実用新案明細書(Z)). Under 'Foreign Literature' (外国文献), the 'WIPO(WO)' checkbox is checked, and it is highlighted with a red box. Other foreign literature options like 'America (US)', 'EPO (EP)', 'China (CN)', etc., are unchecked. At the bottom, the search query '[こんにやく/TX]\*[希少糖/TX]' is entered in the search box.

図4 J-PlatPatでの外国文献検索の画面



そして、次の図5には、検索結果一覧としてデフォルトで表示される、「国内文献（13）」の一覧の画面を示しています。

特許・実用新案検索 | J-PlatPat | ×

https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p0100

国内文献 (13) | 外国文献 (4) | 非特許文献 (-)

検索一覧オプション

公知年別 : 全て | 2019年(3件) | 2018年(1件) | 2017年(1件) | 2016年(2件) | 2015年(1件) | 2014年(4件) | 2009年(1件)

FI別 : 全て | A23(11件) | A61(5件) | A01(1件) | C07(1件) | C08(1件) | C12(1件) | G01(1件)

一覧画面の表示指定 ? : ☒ 最先公知優先 ☐ 公告・登録優先

文献表示画面の表示形式 : ☒ テキスト表示 ☐ PDF表示

複数PDFダウンロードは、最大5案件まで選択できます。

No.	文献番号 ▲	出願番号 ▲	出願日 ▲	公知日 ●	発明の名称 ▲	出願人/権利者	FI	各種機能
1	<b>再表2014/119718</b>	特願2014-559768	2014/01/31	2014/08/07	血糖値の上昇抑制効果を有する こんにやく加工食品	ハイスキー食品工業株式会 社 他	A23L1/30@B A23L1/212.102@Z A23L19/00.102@Z 他	<input type="button" value="経緯情報"/> <input type="button" value="OPD"/> <input type="button" value="URL"/>
2	特願2014-103960	特願2012-261900	2012/11/30	2014/06/09	煮物の品質を改善する方法	松谷化学工業株式会社	A23L1/01@A A23L1/03 A23L1/36 他	<input type="button" value="経緯情報"/> <input type="button" value="OPD"/> <input type="button" value="URL"/>
3	特願2014-079205	特願2012-229930	2012/10/17	2014/05/08	卵加工食品の味質を改善する方 法	松谷化学工業株式会社	A23L1/32 A23L15/00 A23L15/00@Z	<input type="button" value="経緯情報"/> <input type="button" value="OPD"/> <input type="button" value="URL"/>
4	<b>再表2014/054601</b>	特願2014-539742	2013/10/01	2014/04/10	クマリン誘導体が結合した蛍光 標識糖誘導体を用いた細胞イメ ージング方法及びイメージング 剤	株式会社ペプチド研究所 他	G01N33/58@Z C12Q1/02 C07H15/17 他	<input type="button" value="経緯情報"/> <input type="button" value="OPD"/> <input type="button" value="URL"/>

図5 国内文献の検索結果一覧の画面

国内文献として13件がヒットしており、その中には、2件の再公表特許が含まれていました。再公表特許の1件は「再表2014/119718」であり、引用文献である国際公開公報が再公表された公報です。

この再公表特許の発行日は2017年1月26日であり、2021年の現時点での検索ではヒットしますが、題材公報の出願が行われた2014年12月の時点で検索していたならば、再公表特許は発行前ということになりヒットすることはありません。

続けて、「国内文献（13）」のタブの右隣に表示されている「外国文献（4）」のタブを選択したときに表示される一覧の画面を、図6にしました。



特許・実用新案検索 | J-PlatPat | X

https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p0100

国内文献 (13) 外国文献 (4) 非特許文献 (-)

検索一覧オプション

公知年別: 全て | 2020年(2件) | 2014年(2件)

IPC別: 全て | A23(1件) | A61(1件) | C07(1件) | C12(1件) | G01(1件)

文献表示画面の表示形式: ☒ テキスト表示 ☐ PDF表示

新しい国際公開公報にはIPCが収録されていない

No.	代表文献番号 ▲	公知日 ▼	出願日 ▲	IPC	各種機能
1	<a href="#">WO-A-2020/195106</a>	2020/01/01	2020/01/27	-	<a href="#">OPD</a> <a href="#">URL</a>
2	<a href="#">WO-A-2020/171144</a>	2020/08/27	2020/02/19	-	<a href="#">OPD</a> <a href="#">URL</a>
3	<a href="#">WO-A-2014/119718</a>	2014/08/07	2014/01/31	A23L1/30 A23L19/00 A23L19/10	<a href="#">OPD</a> <a href="#">URL</a>
4	<a href="#">WO-A-2014/054601</a>	2014/04/10	2013/10/01	G01N33/58 A61K49/00 C07H5/06 他	<a href="#">OPD</a> <a href="#">URL</a>

一覧上部へ

図6 外国文献の検索結果一覧の画面

「W I P O (W O)」の国際公開公報として4件がヒットしており、その中には、国内文献の再公表特許としてヒットした、下線を付けた2件とともに、四角で囲った外国文献だけでヒットしている2件の国際公開公報が表示されています。外国文献だけでヒットした2件の国際公開公報は、2020年8月と10月にそれぞれ発行されていますが、再公表特許は現時点で発行されていません。したがって、国内文献に加えて外国文献の「W I P O (W O)」を検索対象に指定した検索を行わないと先行技術として把握することはできません。

つまり、国内文献だけを対象として出願前先行技術調査を実施した場合には、再公表に至っていない国際公開公報は調査対象には含まれません。有料の特許データベースサービスの中には、国内の公開特許公報に加えて、再公表特許が発行される前の日本語の国際公開公報と一緒に検索できるものもあります。しかし、題材公報と引用文献との対比の所で説明したように、国際公開公報はF I やF タームで検索できないので、F I やF タームを指定した検索式しか作成しなかった場合には、せっかく国際公開公報と一緒に収録されていても、検索の対象外となってしまうので注意が必要です。

さらに、J - P l a t P a t で国際公開公報を検索する場合に厄介な問題が、I P C データの収録タイムラグの問題です。図6の点線で囲った部分を見ていただくと、新しい国際公開特許にはI P C データが収録されていないことをご確認いただけたと思います。理由はわかりませんが、J - P l a t P a t ではI P C データの収録については「公報が発行されてから数か月のタイムラグがある」とのことです。

図 7 には、FAQ の関連する部分の画面を示しました。



図 7 J-PlatPat の IPC 収録のタイムラグの説明

国内の公開特許公報の検索であれば、回答で説明されているとおり、「FI」を使った検索でカバーできますが、FI が収録されていない国際公開公報の場合には、IPC 検索と同等な別の検索によりカバーすることはできません。

今回は、国内文献と外国文献とを一度に一緒に検索できる、J-PlatPat の「特許・実用新案検索」の事例を紹介しましたが、IPC を使った検索が必要であるならば、二度手間にはなってしまいますが、PATENTSCOPE や Google Patent 等の外国文献検索データベースを活用することをおすすめします。

## 5. 実行したい検索式の具体例

今回の題材で実施できたら良いと思われる検索式の例をご紹介します。今回は予備検索で実施するような簡単なキーワード検索でヒットさせられたと思うので、FI (IPC) を使ったラインと、F タームを使ったラインと、キーワードのみを指定したラインの 3 つの検索式を紹介します。

**FI + IPC = (A23L33/? + A23L1/30?)**

× 全文 = (こんにゃく + コンニャク + 蒟蒻 + グルコマンナン + グリコマンナン)

× 全文 = (希少糖 + レアシュガー + プシコース + アルロース + アロース)

→ヒット件数：34件 題材公報：○ 引用文献：○

「旧分類のA23L1/30?」と「新分類のA23L33/?」をFIとIPCとを併用して指定した集合に対して、全文中に「こんにゃく」と「希少糖」の概念のキーワードを含むものに絞り込みました。

FI指定のみならず、IPC指定を並列で指定しておくことで、国際公開公報も含めて検索することができます。

Fターム＝(4B018MD27\*4B018ME03)

× 全文＝(こんにゃく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン+グリコマンナン)

→ヒット件数：89件 題材公報：○ 引用文献：×

「4B018MD27：糖類、多糖類」と「4B018ME03：糖尿病治療」を掛け合わせた集合に対して、全文中に「こんにゃく」の概念のキーワードを含むものに絞り込みました。Fタームを指定しているので、国際公開公報は検索対象に含まれなくなっています。

全文＝(こんにゃく+コンニャク+蒟蒻+グルコマンナン+グリコマンナン)

× 全文＝(希少糖+レアシュガー+ブシコース+アルロース+アロース)

× 全文＝(血糖値+体重+ダイエット+体脂肪+内臓脂肪+肥満+糖尿病)

→ヒット件数：67件 題材公報：○ 引用文献：○

全文を対象に「こんにゃく」と「希少糖」と「血糖値」の概念のキーワードを掛け合わせた検索式です。請求項1を構成する「こんにゃく」と「希少糖」のキーワードに加えて、課題、効果を表す「血糖値」の概念のキーワードを掛け合わせました。キーワード指定のみの検索式であれば国際公開公報も検索することができます。

## 6. 今回の事例から学んだポイント

今回の演習課題への取り組みにより得られた知見をまとめます。

- (1) 再公表特許は発行までのタイムラグが長いので、国際公開公報を含めて検索する。
- (2) 再公表特許の廃止に伴い国際公開公報を見据えた検索式を作る。
- (3) J-P l a t P a tのIPC収録のタイムラグに気を付ける。

再公表特許が廃止される2022年まで1年を切りました。まだ、時間はありますが、国際公開特許の検索のやり方を模索するなど、再公表特許廃止に伴う対策を前倒しして、対応できる体制を早めに構築するとともに、検索スキルの向上が図れるといいですね。

－以上－